

令和6年3月15日

保護者の皆様へ

郡山第五中学校長 小山 健幸

学校評価保護者アンケートの御礼

仲春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、ご協力いただいたアンケートの集計がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

生徒・保護者・地域に信頼される学校づくりを目指し、皆様からいただきました評価を学校運営に生かしていきたいと思っておりますので、今後とも五中教育に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

教育目標

自学 共生 自立

目的

学校評価ガイドライン〔平成28年改訂〕より

- 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- 各学校が、自己評価および保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の水準を保証し、その向上を図ること。

令和5年度 郡山第五中学校学校評価集計結果について

別紙の通り、保護者のアンケート結果からは肯定的な意見（「よくあてはまる」＋「あてはまる」）の割合が8割を超える項目が多く、全体として概ね高い評価をいただいておりますが、今後の学校経営に生かしていきたい点について抽出しました。

(1)自学について

	数値	対応
自学	自学④ お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。 <u>肯定的 60.2%</u> (昨年度63.6%)	○ 予習⇒授業⇒復習の学習のサイクルは生徒の確かな学力を育む基本となります。「ふくしまの家庭学習スタンダード」に示された内容をベースに学校の取組を工夫してまいります。また、タブレット端末を積極的に家庭に持ち帰り、スタディサプリ等を活用しながら自主的に学びに向かう姿勢を育てていきたいと考えています。

(2)共生について

	数値	対応
共生	共生④ 五中生はいじめがなく、他の人に対して思いやりのある行動ができていますか。 <u>肯定的 67.6%</u> (昨年度77.7%) 共生⑥ 五中生は、スマートフォンやインターネットなど、マナーを守りトラブルなく使用していますか。 <u>肯定的 68.9%</u> (昨年度66.8%)	○いじめの早期発見・早期対応を心がけ、学校全体としていじめは絶対に許さないという姿勢で今後も指導を続けてまいります。 ○学校では、技術・家庭科や道徳の授業、学級活動などで適宜情報モラルについて指導をしています。今後も外部機関とも連携しながら情報モラル教育を進め、正しい使い方を身につけていくよう指導します。

(3)自立について

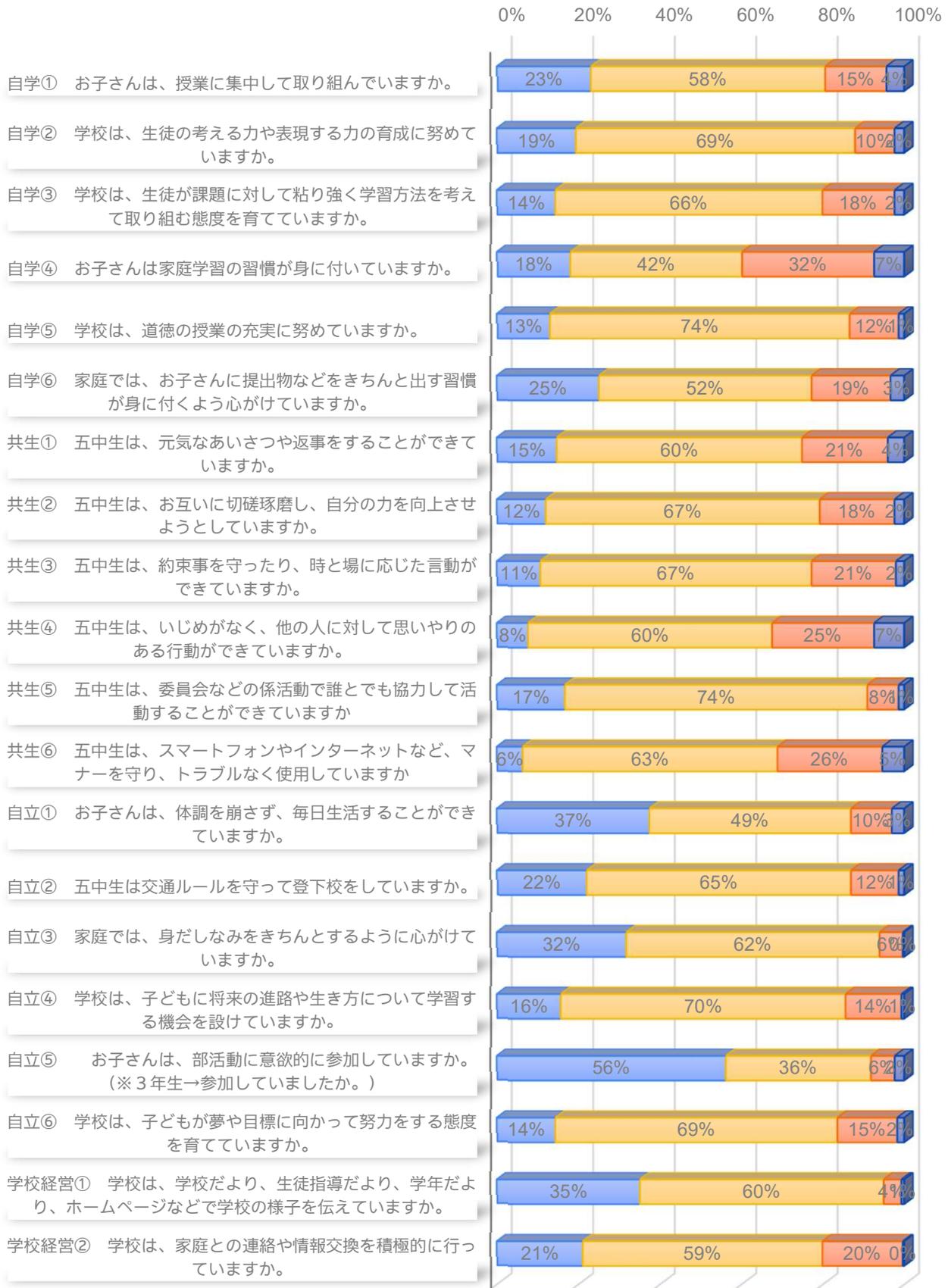
	数値	対応
自立	自立② 五中生は、交通ルールを守って登下校していますか。 <u>肯定的 87.0%</u> (昨年度84.4%)	○交通ルールに対するアンケートは生徒の8割が大変良いと答えているのに対し、保護者は約2割と乖離が見られるのが現状です。自転車のヘルメット着用が義務化されたこともあり、引き続き安全指導を行っていきます。

(4)学校運営について

学校運営	○今年度も生徒の普段の様子や活躍を、学年だよりやホームページ等を通して発信をして参りました。また、SDGsの観点からもペーパーレスをさらに進めて情報発信をしていきます。学校から配付するプリント類の削減を今後も進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。 ○次年度も、さらに学校と家庭、そして地域の連携が図れるように努力したいと考えております。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、子ども達の体験活動を重視しながら、今後も学校と家庭の連携をどのように進めていくべきか、関係機関はじめPTAや学校運営協議会とも連携しながら進めてまいります。
-------------	---

学校評価アンケート（保護者）

■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



学校評価アンケート（生徒）

■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

